

武士の成長

学習日 月 日

点

1 右の地図を見て、あとの各問いに答えなさい。

10世紀の半ば、東と西で武士が相次いで反乱を
起こした。朝廷はこれをしずめるのに苦しみ、
ようやくおさえることができた。



① 935年に国府をおそい、一時はその地方の大半を支配した
人物はだれか。また、その場所を地図中のA～Dから
選びなさい。

人物（ ） 場所（ ）

② ①の人物が、国司を追い出したのちに自ら名のった称号を、漢字2字で書きなさい。

（ ）

③ 939年に海賊を率いて、国府や大宰府をおそった人物はだれか。また、その場所を
地図中のA～Dから選びなさい。

人物（ ） 場所（ ）

④ 二つの反乱ののち、朝廷が武士の力を認めるようになったのはなぜか。「他の武士団」の
語を使って書きなさい。

（ ）

2 次の文章を読んで、あとの各問いに答えなさい。

10世紀になると、都や地方で武士が力をつけ始めた。武士は、はじめ弓矢や馬を
あつかう技術にすぐれた者たちで、朝廷や国府の役人となって、天皇の住まいの警備や
犯罪の取りしまりにあたった。やがて地方の武士は成長し、11世紀には土地の開発を進めて、
地方の社会の中心となっていった。

① 地方の武士が、多くの家来を従えてつくったまとまりを何というか。

（ ）

② ①をいくつも率いた武士の長を何というか。

（ ）

③ ②として特に有力であった、天皇の子孫である二つの一族を、漢字で答えなさい。

（ ）（ ）

④ 武士が切り開いた土地を、有力な貴族や寺社に差し出したとき、その土地は何とよば
れたか。

（ ）

⑤ 武士が切り開いた土地を貴族や寺社に差し出したのは、何をのがれるためか。

漢字1字で答えなさい。（ ）

解答

1

① 人物 平将門 場所 B

② 新皇

③ 人物 藤原純友 場所 C

④ 他の武士団の力をかりて、反乱をしずめることができたから。

2

① 武士団

② 棟梁

③ 源氏・平氏

④ 荘園

⑤ 税